

令和7年度 静岡県立浜松南高等学校第1回学校運営協議会議事録

I 日 時

令和7年6月7日（土）午前10時から正午まで

II 場 所

静岡県立浜松南高等学校 第一応接室

III 出席者

学校運営協議会委員

川嶋 利幸（浜松ホトニクス中央研究所産業開発センター長）

奈木真由美（同窓会会長）

林 左和子（静岡文化芸術大学文化政策学部 教授）

藤村 頼長（新津地区自治会連合会長）

森園 大介（PTA会長）

欠席者

塩見 彰睦（静岡大学情報学部 教授）

山下 広祐（有限会社春華堂経営サポート室 HOW`z 事業部）

学校職員

校 長 鈴木 学

副 校 長 向井 愛子

教 頭 山崎 修司

事 務 長 中村 光子

カリキュラム・マネジメント委員長 小粥 俊輔

欠席者

教務主任 後藤 健吾

IV 内 容

1 委嘱状交付(校長)

2 校長挨拶

本日は波濤祭（文化祭）の一般公開日で、生徒の様子をご覧いただいたが、南高の進むべき方向を考えていただく良い機会になればと思う。

今年度より校舎の建替え工事が始まっている。部活動では、後ほど教頭より報告があるがサッカー部、女子バスケットボール部が活躍している。

配布した「進路のてびき」の合格体験記には、生徒が何を考えて進学したか又はどのように頑張ったか、あるいは失敗したか といった後輩へのメッセージが書かれているので参考にしてほしい。

大学入試では、年内入試に取り組む生徒が増えてきており、一括で行う補習や40人授業での対応が難しくなっている。本日は結論を出すというよりも第2回以降の参考資料としていただきたい。

3 学校運営協議会制度について説明(校長)

- ・静岡県立高校・特別支援学校における学校運営協議会制度導入の手引き<概要版>
- ・静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- ・静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱

4 自己紹介

5 会長・副会長選出

静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則(14条)

- ・会長選出については、本日、欠席の塩見彰睦 委員から内諾を得ている。
(会 長)塩見 彰睦 委員 互選により全委員了承
- ・副会長選出については林 佐和子委員から内諾を得ている。
(副会長) 林 佐和子委員 互選により全委員了承

6 議 事

本来議事進行は会長であるが、欠席のため事務局で行う。(副校長)

(1) 学校経営計画について

ア 校長説明

- ・クラス減による教員減、年内入試の増加、総合選抜などの進学制度の多様化、新制服導入、校舎建替えなど変化している。教員減による課題もある。
- ・後期選抜まで頑張るという基本方針は変わらないが、入試制度の多様化が進み、40人一括の授業や補習では対応が難しくなっている。
- ・大切にしたいのは自学する生徒である。変化する中で授業を充実させることと個別最適化への対応を考えていかないといけない。また、教材等を提示して関心を高め、様々な状況設定をして自己管理能力の向上を図るといった内容を学校経営計画に反映させている。
- ・カリキュラム・マネジメント委員会を発足し、7時間目や補習の見直しなど新しい浜松南高の学習スタイルを構築していく。
- ・地域に愛される浜松南高と南高生の育成、大学卒業後の地元への就職貢献、交通安全、教育環境を整えるために必要な教職員の確保と外部連携などご助言いただきたい。
- ・スクールポリシーの具現化の柱は例年と変更ないが、量より質を重視する。「高い志を育む」では、卒業時にはっきりとした夢や希望をもつ生徒が入学時より30%アップ。「学力を伸ばす」では、探究活動等の発表を公開し結果をフィードバックする。心に残る本と出合う。「人間力の向上」では、定期考査や部活動の予定を早期公開しスケジュール管理を主体的に行う。学校行事等における企画運営や学校経営に提言する機会を設けるといったことが今年度の変更点である。

【委員より質疑 等】

- 年々教員数が減少しているということだが、例えば5年間くらい教員数を変更しないというのは難しいのか？また、他校と比べると本校の状況はどうか？
→クラス数の増減により教員定数が変わる。県全体では法定どおりになっていると思われるが、個々にみると法定より少ない学校が多い。本校と同規模の進学校も厳しい状況である。

イ 学校経営の基本的方針の承認

- ・全委員了承

ウ 学校運営について協議

学校の様子（教頭）

- 「進路のてびき」より
 - ・令和6年度卒業生の国公立大学合格者数は133人だった。ちなみに、1年の12月時点では国公立大学希望者は310人、2年の12月時点では295人だった。（2年12月時点での合格率45%）
 - ・本校の進路指導方針として、学校推薦型入試や総合選抜型入試での受験はあまり進めていない。国公立受験を最後まであきらめないという進路指導をしている。
 - ・令和8年度入試から、私立推薦入試に学力試験を導入してよいと文科省から許可が出た。これにより、私立の推薦入試の受験者が増えると予想される。
 - ・最後まで頑張るという志の育成が重要になってくると考えている。
- 令和6年度生徒の活躍
 - ・陸上競技部(男子棒高跳び) 全国高校総体出場
 - ・女子ハンドボール部 全国高校総体初出場
 - ・女子バスケットボール部 東海高校新人大会出場
 - ・写真部 全国高文祭出場
- 令和7年度生徒の活躍
 - ・女子バスケットボール部 静岡県大会準決勝進出(本日試合)
 - ・陸上競技部(男子:400m、4×400mR 女子:棒高跳、400mH) 東海高校総体出場
 - ・男子ハンドボール部 静岡県大会ベスト4
 - ・サッカー部 静岡県大会ベスト8(富士市立高に勝利)

7 その他

(1) 学校関係者評価

年度末に学校の中で自己評価したものに対して評価をしていただきたい。

(2) 今後の予定

令和7年11月初旬

令和7年12月19日(金) (理数探求発表会)

令和8年2月中旬